

再発防止へ不断の努力

県教委が追悼式典

浜松市北区の浜名湖で2010年、県立三ヶ日青年の家のボートが転覆し、野外活動をしていた豊橋市立章南中1年の西野花菜さん(当時12)が死亡した事故から5年を迎えた18日、同施設で県教委主催の追悼式典が営まれた。参加者が西野さんの冥福を祈るとともに、再発防止への不断の努力を誓った。

木苗直秀教育長ら花を手向け、全員で黙。県教委関係者と、城田とつをささげた。木苗守所長(60)ら施設の所教育長は「5年の月日が過ぎたが、今なお悲。員、地元関係者ら計約が過ぎたが、今なお悲。西野さんの姿をイメが込み上げる。(青少)ジした少女の像に年教育施設について」

今後ともより一層安全。日、生徒ら20人が乗ったボートが悪天候で航行不能になり、モーターボートでえい航の途中に転覆。全員が湖に投げ出され、船体内に閉じ込められた西野さんが死亡した。

事故は10年6月18「安全確認の日」と定められている。式典の後には、警察や消防と実施した。



西野花菜さんの姿をイメージした像に花を手向ける
木苗直秀教育長(中央)ら18日午前、浜松市北区の県立三ヶ日青年の家

西野さんの冥福祈る

県立三ヶ日青年の家

(浜松市北区)のボート

転覆事故で亡くなった西

野花菜さん(当時12)が

通っていた愛知県豊橋

市の市立章南中は18日、

発生から5年を迎えたの

に合わせ全校集会を開

た。生徒約320人と教

職員が黙とうし、西野さ

母校の豊橋・章南中

全校集会で黙とう

んの冥福を祈った。

柴田祥宏校長は「学校の教育活動の中で、西野さんの命を奪ってしまったことは決して忘れない」と誓った。「きょう一日を通じて命の大切さを見つめ直してほしい」と生徒に伝えた。

事故後、豊橋市は6月

18日を「学校のいのちの日」と定めた。同日は市内74小、中学校が事故を風化させないよう、児童、生徒と教職員が命の大切さについて考える活動を実施する。

同校では同日午後「命」をテーマにした道徳の授業を行い、西野さんをイメージした黄色い風船を空に放って追悼する。

亡くなった西野花菜さんに黙とうをささげる生徒
=18日午前8時20分ごろ、愛知県豊橋市の市立章南中

